



NO・7—1
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成26年度第3回

亀の瀬地区直轄地すべり対策事業 【再評価】

平成26年11月
近畿地方整備局

目次

1. 事業の概要
2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 地すべりの特徴
 - 2) 事業の整備効果
 - 3) 進捗状況について
 - 4) 効果判定の概要
 - 5) 事業の投資効果
3. 事業進捗の見込みの視点
4. コスト縮減や代替案等の可能性の視点
5. 関係自治体の意見等
6. 対応方針(原案)

1. 事業の概要

事業の目的

◆ 地すべり地内の直接的な被害の防止

地すべり地内にある家屋、耕地、国道25号、JR関西本線（大和路線）等の地すべりによる直接的な被害の防止。

◆ 河道閉塞による湛水・氾濫被害の防止

地すべりを起因とする河道閉塞による奈良県側（上流）の湛水被害、河道閉塞部の決壊による大阪府側（下流）の氾濫被害を防止。

位置図

大阪府と奈良県の府県境付近にある一級河川・大和川中流部の右岸側斜面（河口から約24～26km付近）に位置する。



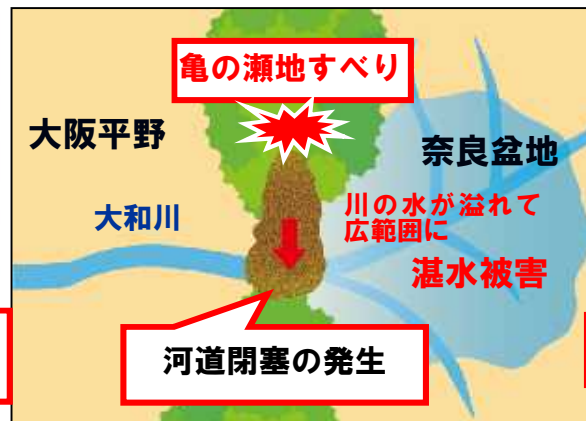
位置：大阪府柏原市峠地先及び雁多尾畑地先

地すべり発生



地すべり地内にある家屋、耕地、国道25号、JR関西本線（大和路線）等の直接的な被害

上流域の湛水→奈良県側で被害



土砂崩壊→大阪府側で被害



1. 事業の概要

事業の経緯・経過など

- ・ 昭和6～7年の峠地区を中心とした地すべりにより、大和川の河道が閉塞し、上流に湛水被害が発生
- ・ また、旧国鉄関西本線の亀の瀬トンネルの崩壊、人家の倒壊・耕地への亀裂等が発生

↓ 地すべり活動が徐々に進行し、昭和26年頃から清水谷周辺が移動しはじめ、大和川の閉塞が懸念された。

- ・ 昭和33年に地すべり等防止法が制定され、昭和34年10月に亀の瀬地区が地すべり防止区域として指定

↓ 地すべり防止工事が国土の保全上特に重要なものであるとの理由により、昭和35年から直轄による調査開始。

- ・ 昭和37年度に直轄地すべり対策事業を開始

- ・ 平成22年度に地すべりを防止するための主な対策工事を完了

災害の発生状況

- 近年の顕著な活動 明治36年, 昭和6～7年, 昭和42年

昭和6～7年地すべり

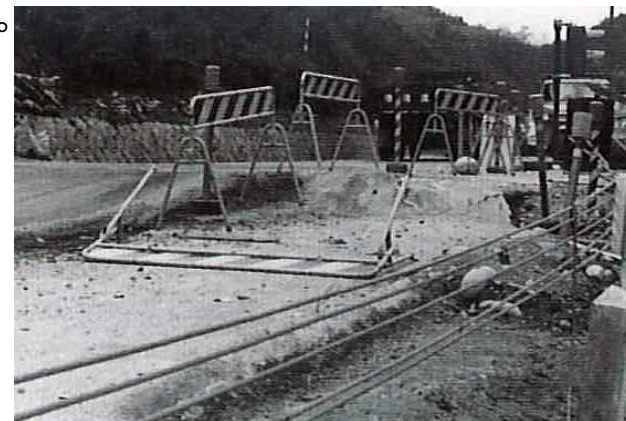
地すべり活動により大和川河床が隆起し、奈良県側（上流部）に浸水被害が発生。



【家屋の湛水被害状況（王寺町）】

昭和42年地すべり

地すべり活動により国道25号が約1.3m隆起し、一時的に交通が途絶。



【国道25号の隆起による被害状況】

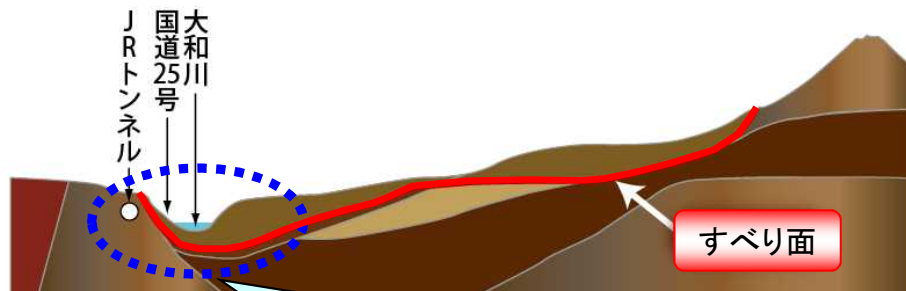
2. 事業の必要性等に関する視点

1) 地すべりの特徴

亀の瀬地すべりは、推定移動土塊量約1,500万 m^3 に及ぶ大規模な地すべり土塊を有しており、降雨等で地下水位が上昇すると斜面が不安定となり地すべり発生危険性が高まる。地すべり対策事業は、1/100確率降雨時の地下水位を想定して斜面の安定化を確保するための対策工を実施。

◆ 亀の瀬地すべりの特徴

- ・ 地すべりの長さ、幅、深度など日本で最大級
- ・ すべり面が大和川の河床下をとおり対岸まで到達している「隆起型」の地すべり



地すべり下部では、地すべりを誘発する地下水を排除することが困難

- ・ 地すべりを防止するには、高度な技術が必要

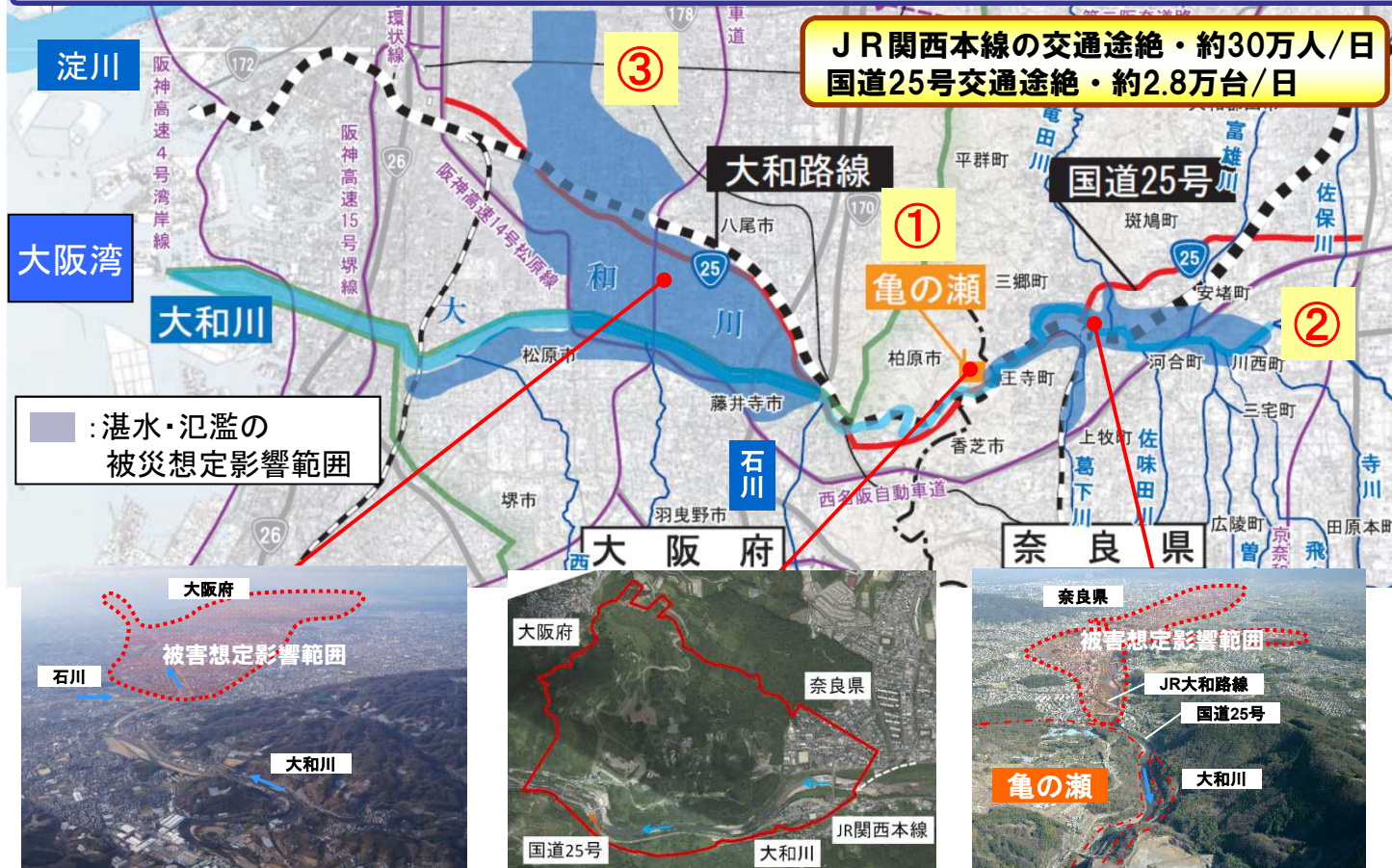
地すべりの長さ	約1,100m
地すべりの幅	約1,000m
地すべりの深度	最大 約70m
地すべりの傾斜	平均12° 前後
推定移動土塊量	約1,500万 m^3



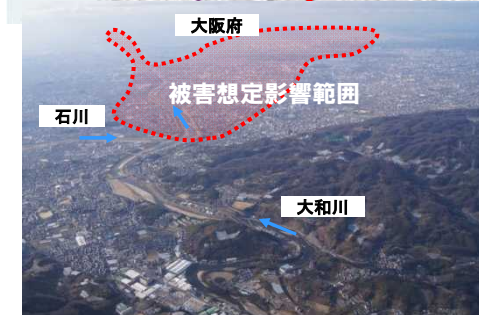
2. 事業の必要性等に関する視点

2) 事業の整備効果

地すべりによる被害および河道閉塞による湛水・氾濫被害を防止し、地域社会・経済の安定化に寄与。
 総額約4.8兆円の資産を保全。



：湛水・氾濫の被災想定影響範囲



◆大阪府側 氾濫被害

被災想定影響範囲	約5,410ha
被害家屋	約17.7万世帯
被害事業所	約2.4万箇所
田・畑	約178ha



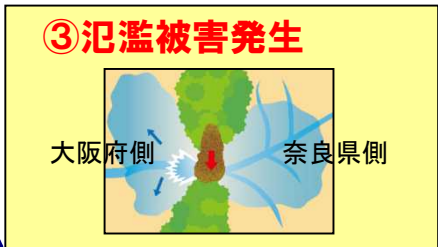
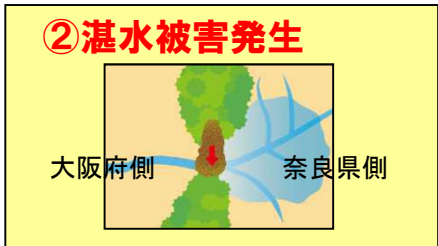
◆地すべりによる被害

被災想定影響範囲	約120ha
被害家屋	約580世帯
被害事業所	約25箇所
田・畑	約10ha



◆奈良県側 湛水被害

被災想定影響範囲	約610ha
被害家屋	約0.5万世帯
被害事業所	約440箇所
田・畑	約155ha



2. 事業の必要性等に関する視点

3) 進捗状況について

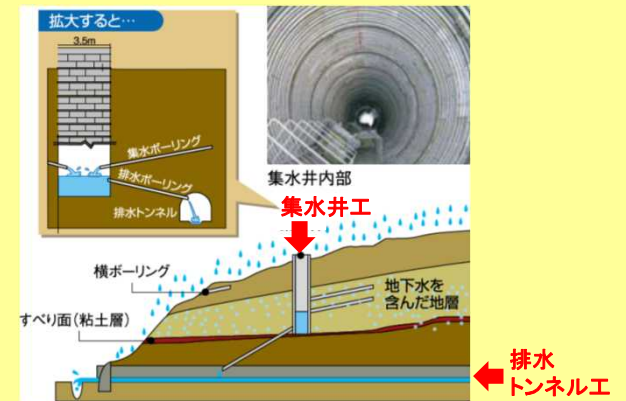
平成22年度に、管理用道路等を除き**地すべりを防止するための主な対策工事を完了**。
 前回委員会（H23年度）以降、管理用道路、保安施設、環境の整備を進め、対策工事の効果判定を実施してきた。
 現在、モニタリングを実施中で地すべりの兆候が無いが観測している。

■ 主な対策工完了

区分	工種	概要	全体計画	
			単位	数量
抑制工 (土塊の撤去や地下水を取り除くなど、地すべり推力を低下させる工法)	排土工	地すべり 斜面頭部の土塊を除去し、地すべり 推力を軽減し、斜面の安定を計る。	m ³	904,330
	排水トンネル工	すべり 面上部に貯まった地下水を取り 除き、地すべり 推力を軽減し、斜面の安定を 図る。	m	7,236
	集水井工		基	54
抑止工 (地すべり推力を杭により 力づくで止める工法)	深礎工	すべり 面の深度が深い場合で、すべり 面より 下の安定した地層まで巨大な杭を打ちこ み、地すべり 推力を力づくで止める。	本	170
	杭打工 (鋼管杭)	すべり 面の深度が浅い場合で、すべり 面より 下の安定した地層まで巨大な杭を打ちこ み、地すべり 推力を力づくで止める。	本	560

■ 抑制工

(土塊の撤去や地下水を取り除くなど、地すべり 推力を低下させる工法)



■ モニタリング

(地すべり兆候がないか、地盤の変動や地下水位の分布を計 器により観測)

地盤伸縮計観測状況

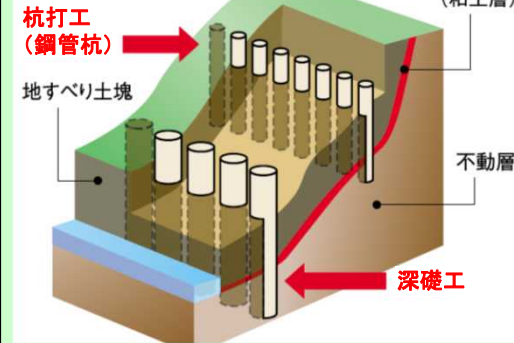


地下水位計観測状況

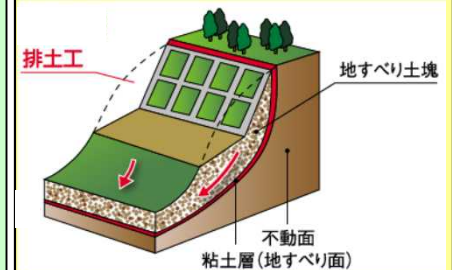


■ 抑止工

(地すべり推力を杭により力づくで止 める工法)



○ 排土工



2. 事業の必要性等に関する視点

4) 効果判定の概要

亀の瀬地すべりは複数の地すべりブロックが相互に影響し機構が複雑、また対策規模が大きく、新工法・新技術を多用しているなど、その効果判定には高度な専門性を有する。そのため、亀の瀬地すべり防止工事の完了に向けて、学識経験者等からなる「亀の瀬地すべり防止工事効果判定委員会」（H22年度設立）を設置。

本年度（H26年度）より、今後の亀の瀬地すべりの発展的な保全方策を検討するため3つの関係委員会・意見聴取会を統廃合し、「亀の瀬地すべり保全方策検討委員会」を新たに設置し、引き続き検討を進める。

◇ 委員会構成

学識経験者 ・独立行政法人 土木研究所 上席研究員 石井 靖雄 ・神戸大学 名誉教授 沖村 孝 ・京都大学防災研究所 教授 釜井 俊孝 ・日本地すべり学会 元会長 藤田 壽雄(委員長) ・斜面防災対策技術協会 理事 吉松 弘行 ・群馬大学 教授 若井 明彦	6名
大阪府 都市整備部 河川室長 大阪府 八尾土木事務所 所長	2名
奈良県 県土マネジメント部 次長 奈良県 県土マネジメント部 砂防課長	2名
国土交通省 近畿地方整備局 河川部長	1名

第1回 亀の瀬地すべり
保全方策検討委員会状況（平成26年10月22日）



■ 委員会の検討内容

- ①直轄地すべり防止工事の効果発揮状況
- ②地すべり防止工事完了後の監視・観測体制
- ③豪雨や大規模地震発生時を視野に入れた危機管理体制

なお、上記①については平成25年度「第6回亀の瀬地すべり防止工事効果判定委員会」において確認した。 6

2. 事業の必要性等に関する視点

5) 事業の投資効果

「治水経済調査マニュアル（案）」（H17.4, 国土交通省河川局）、「公共事業評価の費用便益分析に関する技術指針（共通編）」（H21.6, 国土交通省）、「地すべり対策事業の費用便益分析マニュアル（案）」（H24.3, 国土交通省 水管理・国土保全局 砂防部）、「砂防事業費等の費用対効果分析について」（平成23年3月4日事務連絡）に基づき、費用便益比を算出。

■ 便益 (B)

地すべりの発生確率を1/50として年平均被害軽減期待額を算出。

【1】直接的な被害軽減効果（家屋、耕地、公共・公益施設、生産施設の被害、土砂撤去）

【2】間接的な被害軽減効果（営業停止損失、家庭及び事業所における応急対策費用）

■ 費用 (C)

これまで投資した事業費をデフレータ換算、社会的割引率を用いて現在価値化して計上。

残事業費（環境整備工事やモニタリング等）、維持管理費を社会的割引率を用いて現在価値化して計上。

■ 費用便益費

項目	便益 (B) (百万円)				費用 (C) (百万円)	費用 便益比 (B/C)
	【1】 直接的な 被害軽減効果	【2】 間接的な 被害軽減効果	残存 価値	総便益	事業費 (総費用)	
全体計画	7,846,729	415,659	171	8,262,560	261,372	31.6
残事業	4,165	221	0	4,386	589	7.5

■ 算出条件

基準年 : 平成26年

検討期間 : 事業着手時～

事業完成時～50年

現在価値算出のための

社会的割引率 : 4%

※1 便益・費用については、現在価値化した値である。

※2 便益・費用については整数値としており、合計値は表示桁数の関係で一致しないことがある。

※3 地すべり危険区域を計上している（今回は未計上）

3. 事業進捗の見込みの視点

- 亀の瀬地区直轄地すべり対策事業は、昭和37年に着手し、平成22年度までに地すべりを防止するための主な対策工はすべて完成した。
- 継続して地すべり活動をモニタリングを実施した結果、地すべり防止工事の効果を判定するために設置した「亀の瀬地すべり防止工事効果判定委員会」で、平成25年度には、「対策工事は、十分効果を発現している」と意見をいただいている。
- 今後は引き続き、地すべり地の管理を行うために必要なモニタリングや環境整備工事を行うとともに、モニタリングの結果に応じた対応や、監視・観測体制の見直し、大規模災害等の発生時に対する危機管理体制の構築等について、「亀の瀬地すべり保全方策検討委員会」の指導・助言をいただきながら、検討を行う。

4. コスト縮減や代替案等の可能性の視点

- 地すべり対策事業の効果が十分発現しているため、地すべり地表面の状況を随時把握するための除草は、観測機器周辺を除き、除草面積を縮小する。また、現状の監視・観測体制の適正化を図るため、地すべり観測施設の配置計画の見直しなどで維持管理費用を縮減し、コスト縮減に努めていく。

5. 関係自治体の意見等

■ 大阪府知事

平成26年10月30日 河整第1711号
近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について(回答)

亀の瀬地区地すべり対策事業について、以下の事項を要請します。

- ①「亀の瀬地すべり保全方策検討委員会」等での審議を踏まえた安全性に関する十分な確認
- ②観測施設の選定、危機管理体制構築、事業完了後の利活用等に関する大阪府、奈良県及び関係する市町村との十分な調整

■ 奈良県知事

平成26年11月4日 砂第329号
近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について(回答)

平成26年10月21日付け国近整企画64号で照会のありました近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る「亀の瀬地区地すべり対策事業」の意見照会については、以下のとおり回答します。

亀の瀬地すべり地は本県と大阪府の境界付近の一級河川大和川中流部に位置しており、その上下流には両府県の人口・資産が集中しているだけでなく、末端部には国道25号、JR大和路線が通過し、奈良と大阪を結ぶ物流・交通の要衝となっています。

国が昭和37年に直轄事業で地すべり防止工事に着手し、これまで継続的に対策工事を進めてきたことにより、近年は顕著な地すべり活動は観測されていませんが、活動が再発した場合は、両府県に与える被害は甚大なものとなります。

県民の安全・安心を確保するため、今後も引き続き直轄事業として継続し、万全の監視・観測体制や危機管理体制の構築を図るようお願い致します。

尚、これまで施された地すべり工事の効果の評価にあたっては、計画時に想定した外力に対する効果の確認だけでなく、想定外の外力についても確認するなど、慎重且つ入念な技術的検証をお願い致します。

また、同工事の完了の判断にあたっては、事前に十分な説明と協議を頂きますようお願い致します。

6. 対応方針（原案）

(1) 事業の必要性等に関する視点

- 地すべり地内の保全と河道閉塞による湛水・氾濫被害を防止するため地すべり対策事業を実施する。
- 費用便益比(B/C)は、事業全体で31.6。

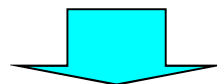
(2) 事業進捗の見込みの視点

- 亀の瀬地区直轄地すべり対策事業は、昭和37年に着手し、平成22年度までに地すべりを防止するための主な対策工はすべて完成した。
- 継続して地すべり活動をモニタリングを実施した結果、地すべり防止工事の効果を判定するために設置した「亀の瀬地すべり防止工事効果判定委員会」で、平成25年度には、「対策工事は、十分効果を発現している」と意見をいただいている。
- 今後は引き続き、地すべり地の管理を行うために必要なモニタリングや環境整備工事を行うとともに、モニタリングの結果に応じた対応や、監視・観測体制の見直し、大規模災害等の発生時に対する危機管理体制構築等について、「亀の瀬地すべり保全方策検討委員会」の指導・助言をいただきながら、検討を行う。

(3) コスト縮減や代替案等の可能性の視点

- 地すべり対策事業の効果が十分発現しているため、地すべり地表面の状況を随時把握するための除草は、観測機器周辺を除き、除草面積を縮小する。また、地すべり観測施設の配置見直しなどで維持管理費用を縮減し、コスト縮減に努めていく。

【対応方針（原案）】



以上のことから、亀の瀬地区直轄地すべり対策事業を継続することが適切である。



NO. 7 - 2
近畿地方整備局
事業評価監視委員会
平成26年度第3回

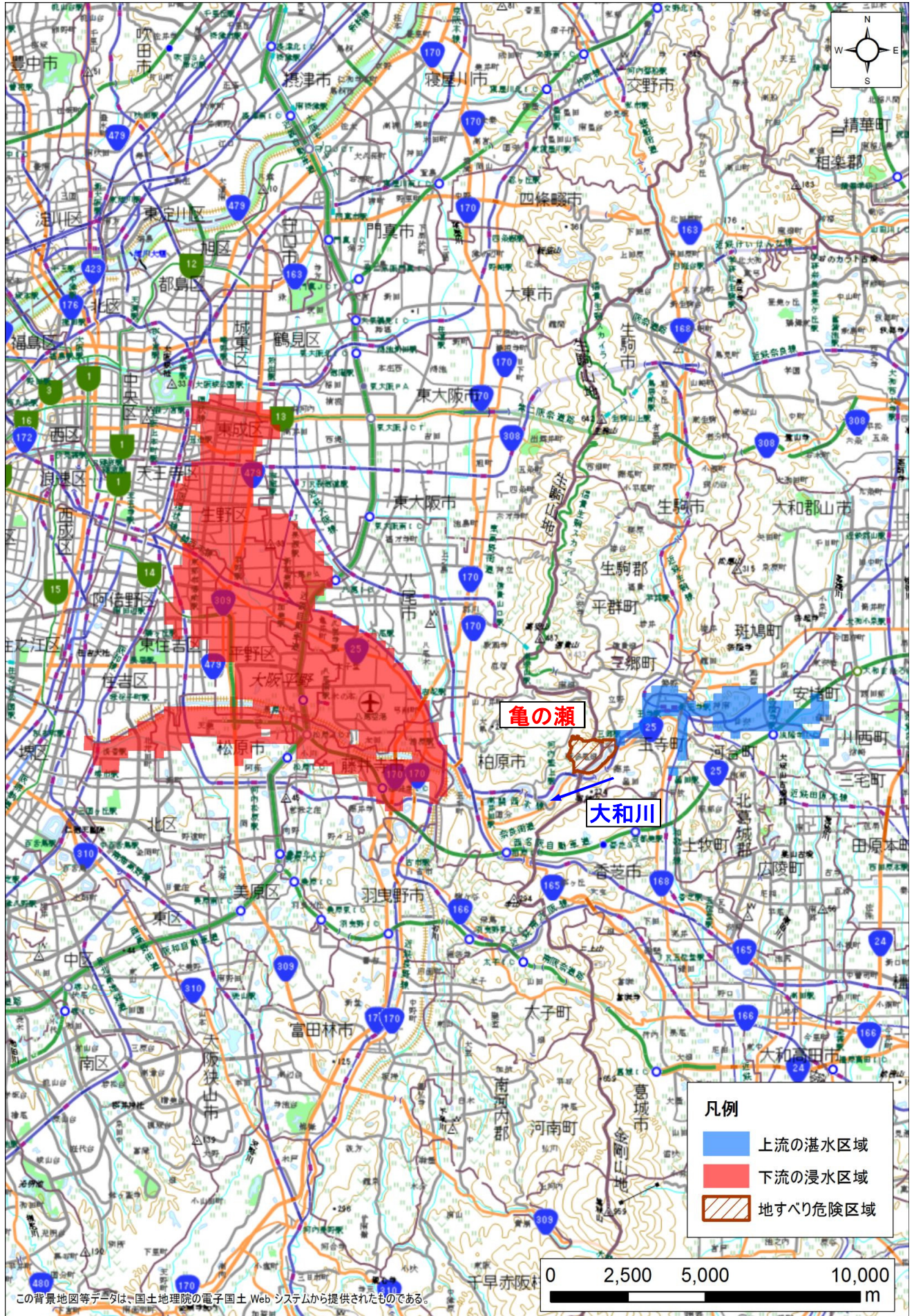
亀の瀬地区直轄地すべり対策事業

【再評価】

平成26年11月
近畿地方整備局

様式-1

被害想定区域図 箇所名: 亀の瀬地すべり
 (地すべり危険区域・上流の湛水区域・下流の氾濫区域)



様式-2
資産データ

箇所名 亀の瀬地すべり 国勢調査年：平成22年 経済センサス調査年：平成21年

氾濫ブロック	ブロック面積 (ha)	一般資産等基礎数量										一般資産額(百万円)				農作物資産(百万円)			備考
		人口 (人)	世帯数 (世帯)	従業者数 (人)	農漁家数 (戸)	延床面積 (m ²)	水田面積 (ha)	畑面積 (ha)	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計	
											償却資産	在庫資産	償却資産	在庫資産					
地すべり危険区域	1200	323	557	117	0	58,154	0	10	9,344	8,186	410	321	0	0	18,260	0	72	72	18,332
上流の潜水区域	610.0	10,637	4,547	6,118	51	650,588	138	17	104,550	66,819	19,926	11,112	94	20	202,521	166	109	275	202,796
下流の氾濫区域	5,410.0	326,955	176,690	260,693	487	22,038,130	163	15	3,488,636	2,596,639	920,797	671,255	888	192	7,678,406	189	91	280	7,678,686

※表中の数値は、危険区域、想定氾濫区域内に含まれる資産データ

様式-3(1) 無施設時
1)地すべり危険区域

箇所名: 亀の瀬地すべり

国勢調査年: 平成22年 経済センサス調査年: 平成21年

単位: 百万円

汎濫 フロック	一般資産被害額				農作物被害額				事業所における応急対策費用				人的 損失額	合計	備考		
	事業所資産		農漁家資産		水稲		畑作物		営業停止 損失		家庭労働 対価					その他間 接被害※1	
	備却	在庫	備却	在庫	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計				小計	
地すべり土塊が 湧き出るまでの被害					4,672					1,595							
地すべり土塊が 湧き出した場合の被害	9,344	8,186	410	321	0	0	0	72	72	3,190	195	934	191	1,126	159	76,656	
合計	14,016	8,186	410	321	0	0	0	72	72	4,785	195	934	191	1,126	159	76,656	

※1: 交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

2)上流の湛水区域

汎濫 フロック	一般資産被害額				農作物被害額				事業所における応急対策費用				人的 損失額	合計	備考		
	事業所資産		農漁家資産		水稲		畑作物		営業停止 損失		家庭労働 対価					その他間 接被害※1	
	備却	在庫	備却	在庫	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計				小計	
地すべり土塊が 湧き出した場合の被害	48,289	42,527	14,915	6,936	35	10	112,712	50	49	190,934	4,640	1,475	1,222	2,698	2,188	0	
合計	48,289	42,527	14,915	6,936	35	10	112,712	50	49	190,934	4,640	1,475	1,222	2,698	2,188	0	

※1: 交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

3)下流の氾濫区域

汎濫 フロック	一般資産被害額				農作物被害額				事業所における応急対策費用				人的 損失額	合計	備考		
	事業所資産		農漁家資産		水稲		畑作物		営業停止 損失		家庭労働 対価					その他間 接被害※1	
	備却	在庫	備却	在庫	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計	小計				小計	
地すべり土塊が 湧き出した場合の被害	578,523	585,383	275,646	129,743	198	58	1,569,553	60	41	2,658,822	70,870	21,191	28,743	49,934	33,396	0	
合計	578,523	585,383	275,646	129,743	198	58	1,569,553	60	41	2,658,822	70,870	21,191	28,743	49,934	33,396	0	

※1: 交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

様式-3(2) 現況施設時
1)地すべり危険区域

箇所名: 亀の瀬地すべり

国勢調査年: 平成22年 経済センサス調査年: 平成21年

単位: 百万円

汎濫 ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				公共土木 施設等被 害額				営業停止 損失	家庭労働 対価	家庭における応急対策費用 代替活動等 小計	事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額	合計	備考					
	事業所資産		農漁家資産		水稲		畑作物		公共土木 施設等被 害額		清掃労働 対価	代替活動等 小計									事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額	合計	備考
	償却	在庫	償却	在庫	小計	在庫	小計	小計	在庫	小計															
地すべり土塊が 滑落ちるまでの被害	4,672				4,672					1,595									6,267						
地すべり土塊が 滑落ちた場合の被害	9,344	8,186	410	321	0	0	0	72	72	3,190	195	934	191	1,126	159	76,656	7,789	107,447							
合計	14,016	8,186	410	321	0	0	0	72	72	4,785	195	934	191	1,126	159	76,656	7,789	113,714							

※1:交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

2)上流の湛水区域

汎濫 ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				公共土木 施設等被 害額	営業停止 損失	家庭労働 対価	家庭における応急対策費用 代替活動等 小計	事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額	合計	備考									
	事業所資産		農漁家資産		水稲		畑作物											公共土木 施設等被 害額		清掃労働 対価	代替活動等 小計	事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額	合計	備考
	償却	在庫	償却	在庫	小計	在庫	小計	小計										在庫	小計							
地すべり土塊が 滑落ちた場合の被害	48,289	42,527	14,915	6,936	35	10	112,712	50	49	190,934	4,640	1,475	1,222	2,698	2,188	0	313,270									
合計	48,289	42,527	14,915	6,936	35	10	112,712	50	49	190,934	4,640	1,475	1,222	2,698	2,188	0	313,270									

※1:交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

3)下流の氾濫区域

汎濫 ブロック	一般資産被害額				農作物被害額				公共土木 施設等被 害額	営業停止 損失	家庭労働 対価	家庭における応急対策費用 代替活動等 小計	事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額	合計	備考									
	事業所資産		農漁家資産		水稲		畑作物											公共土木 施設等被 害額		清掃労働 対価	代替活動等 小計	事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額	合計	備考
	償却	在庫	償却	在庫	小計	在庫	小計	小計										在庫	小計							
地すべり土塊が 滑落ちた場合の被害	578,523	585,383	275,646	129,743	198	58	1,569,553	60	41	2,658,822	70,870	21,191	28,743	49,934	33,396	0	4,382,676									
合計	578,523	585,383	275,646	129,743	198	58	1,569,553	60	41	2,658,822	70,870	21,191	28,743	49,934	33,396	0	4,382,676									

※1:交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

様式-3(3) 計画完成時

箇所名: 亀の瀬地すべり

単位:百万円

国勢調査年: 平成22年 経済センサス調査年: 平成21年

1)地すべり危険区域	一般資産被害額										農作物被害額				公共土木施設等被害額				合計	備考
	家屋	家庭用品		事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計	営業停止 損失	家庭における 清掃労働 対価	家庭における 代替活動等	小計	事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額		
		償却	在庫	償却	在庫	償却	在庫													
氾濫 ブロック																				
地すべり土塊が 滑落に至るまでの被害	0						0												0	
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※1:交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

2)上流の湛水区域

単位:百万円

2)上流の湛水区域	一般資産被害額										農作物被害額				公共土木施設等被害額				合計	備考
	家屋	家庭用品		事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計	営業停止 損失	家庭における 清掃労働 対価	家庭における 代替活動等	小計	事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額		
		償却	在庫	償却	在庫	償却	在庫													
氾濫 ブロック																				
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※1:交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

3)下流の氾濫区域

単位:百万円

3)下流の氾濫区域	一般資産被害額										農作物被害額				公共土木施設等被害額				合計	備考
	家屋	家庭用品		事業所資産		農漁家資産		小計	水稲	畑作物	小計	営業停止 損失	家庭における 清掃労働 対価	家庭における 代替活動等	小計	事業所にお ける応急対 策費用	その他間 接被害※1	人的 損失額		
		償却	在庫	償却	在庫	償却	在庫													
氾濫 ブロック																				
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

※1:交通遮断被害、発電所被害、観光被害、国・地方公共団体における応急対策費用、人命損傷に伴うもの(精神的損害額)を計上する。

様式-4(1) 全体事業
年平均被害軽減額

箇所名: 亀の瀬地すべり

1)地すべり危険区域

被害区分	被害率	被害額(百万円)			発生確率 ④	年平均 被害軽減額 ③×④
		事業を実施し ない場合①	事業を実施し た場合②	被害軽減額 ③=①-②		
地すべり土塊が 滑落に至るまでの被害	0.01	125	0	125	1.00	125
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	1.00	107,447	0	107,447	0.02	2,149
年平均被害軽減額(百万円)						2,274

2)上流の湛水区域

被害区分	被害率	被害額(百万円)			発生確率 ④	年平均 被害軽減額 ③×④
		事業を実施し ない場合①	事業を実施し た場合②	被害軽減額 ③=①-②		
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	1.00	313,270	0	313,270	0.02	6,265
年平均被害軽減額(百万円)						6,265

3)下流の氾濫区域

被害区分	被害率	被害額(百万円)			発生確率 ④	年平均 被害軽減額 ③×④
		事業を実施し ない場合①	事業を実施し た場合②	被害軽減額 ③=①-②		
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	1.00	4,382,676	0	4,382,676	0.02	87,654
年平均被害軽減額(百万円)						87,654

様式-4(2) 残事業
年平均被害軽減額

箇所名: 亀の瀬地すべり

1)地すべり危険区域

被害区分	被害率	被害額(百万円)			発生確率 ④	年平均 被害軽減 額 ③×④	※年平均 被害軽減額 ③×④- (既投資効果額)
		事業を実施し ない場合①	事業を実施し た場合②	被害軽減額 ③=①-②			
地すべり土塊が 滑落に至るまでの被害	0.01	125	0	125	1.00	125	0
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	1.00	107,447	0	107,447	0.02	2,149	5
年平均被害軽減額(百万円)						2,274	5

2)上流の湛水区域

被害区分	被害率	被害額(百万円)			発生確率 ④	年平均 被害軽減 額 ③×④	※年平均 被害軽減額 ③×④- (既投資効果額)
		事業を実施し ない場合①	事業を実施し た場合②	被害軽減額 ③=①-②			
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	1.00	313,270	0	313,270	0.02	6,265	14
年平均被害軽減額(百万円)						6,265	14

3)下流の氾濫区域

被害区分	被害率	被害額(百万円)			発生確率 ④	年平均 被害軽減 額 ③×④	※年平均 被害軽減額 ③×④- (既投資効果額)
		事業を実施し ない場合①	事業を実施し た場合②	被害軽減額 ③=①-②			
地すべり土塊が 滑落した場合の被害	1.00	4,382,676	0	4,382,676	0.02	87,654	199
年平均被害軽減額(百万円)						87,654	199

※事業着手(昭和63年)~評価年(平成26年)までの対策工の施工による効果を考慮し、対策工の整備率によって整備効果分を差し引くものとする。

$$\text{年平均被害軽減額} = \text{年平均被害軽減額} \times (1 - 0.997731)$$

年次	t	便益			費用						費用 便益費 B/C	純現在 価値 B-C		
		便益①		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④				
		便益	現在価値			費用	現在価値	費用	現在価値	費用			現在価値	
	S35	-54												
	S36	-53												
	S37	-52												
	S38	-51												
	S39	-50												
	S40	-49												
	S41	-48												
	S42	-47												
	S43	-46												
	S44	-45												
	S45	-44												
	S46	-43												
	S47	-42												
	S48	-41												
	S49	-40												
	S50	-39												
	S51	-38												
	S52	-37												
	S53	-36												
	S54	-35												
	S55	-34												
	S56	-33												
	S57	-32												
	S58	-31												
	S59	-30												
	S60	-29												
	S61	-28												
	S62	-27												
	S63	-26												
	H1	-25												
	H2	-24												
	H3	-23												
	H4	-22												
	H5	-21												
	H6	-20												
	H7	-19												
	H8	-18												
	H9	-17												
	H10	-16												
	H11	-15												
	H12	-14												
	H13	-13												
	H14	-12												
	H15	-11												
	H16	-10												
	H17	-9												
	H18	-8												
	H19	-7												
	H20	-6												
	H21	-5												
	H22	-4												
	H23	-3												
	H24	-2												
	H25	-1												
	H26	0												
	H27	1	0	0	0	279	269			279	269			
	H28	2	100	92	92	135	125			135	125			
	H29	3	146	130	130	112	100			112	100			
	H30	4	183	156	156	112	96			112	96			
	H31	5	218	179	179			0	0	0	0			
	H32	6	218	172	172			0	0	0	0			
	H33	7	218	166	166			0	0	0	0			
	H34	8	218	159	159			0	0	0	0			
	H35	9	218	153	153			0	0	0	0			
	H36	10	218	147	147			0	0	0	0			
	H37	11	218	142	142			0	0	0	0			
	H38	12	218	136	136			0	0	0	0			
	H39	13	218	131	131			0	0	0	0			
	H40	14	218	126	126			0	0	0	0			
	H41	15	218	121	121			0	0	0	0			
	H42	16	218	117	117			0	0	0	0			
	H43	17	218	112	112			0	0	0	0			
	H44	18	218	108	108			0	0	0	0			
	H45	19	218	104	104			0	0	0	0			
	H46	20	218	100	100			0	0	0	0			
	H47	21	218	96	96			0	0	0	0			
	H48	22	218	92	92			0	0	0	0			
	H49	23	218	89	89			0	0	0	0			
	H50	24	218	85	85			0	0	0	0			
	H51	25	218	82	82			0	0	0	0			
	H52	26	218	79	79			0	0	0	0			
	H53	27	218	76	76			0	0	0	0			
	H54	28	218	73	73			0	0	0	0			
	H55	29	218	70	70			0	0	0	0			
	H56	30	218	67	67			0	0	0	0			
	H57	31	218	65	65			0	0	0	0			
	H58	32	218	62	62			0	0	0	0			
	H59	33	218	60	60			0	0	0	0			
	H60	34	218	58	58			0	0	0	0			
	H61	35	218	55	55			0	0	0	0			
	H62	36	218	53	53			0	0	0	0			
	H63	37	218	51	51			0	0	0	0			
	H64	38	218	49	49			0	0	0	0			
	H65	39	218	47	47			0	0	0	0			
	H66	40	218	45	45			0	0	0	0			
	H67	41	218	44	44			0	0	0	0			
	H68	42	218	42	42			0	0	0	0			
	H69	43	218	40	40			0	0	0	0			
	H70	44	218	39	39			0	0	0	0			
	H71	45	218	37	37			0	0	0	0			
	H72	46	218	36	36			0	0	0	0			
	H73	47	218	35	35			0	0	0	0			
	H74	48	218	33	33			0	0	0	0			
	H75	49	218	32	32			0	0	0	0			
	H76	50	218	31	31			0	0	0	0			
	H77	51	218	30	30			0	0	0	0			
	H78	52	218	28	28			0	0	0	0			
	H79	53	218	27	27			0	0	0	0			
	H80	54	218	26	26			0	0	0	0			
合計			11,339	4,386	0	4,386	638	589	0	0	638	589	7.5	3,797

年次	t	便 益			費 用						費用 便益費 B/C	純現在 価値 B-C	
		便益①		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
		便益	現在価値			費用	現在価値	費用	現在価値	費用			現在価値
S35	-54												
S36	-53												
S37	-52												
S38	-51												
S39	-50												
S40	-49												
S41	-48												
S42	-47												
S43	-46												
S44	-45												
S45	-44												
S46	-43												
S47	-42												
S48	-41												
S49	-40												
S50	-39												
S51	-38												
S52	-37												
S53	-36												
S54	-35												
S55	-34												
S56	-33												
S57	-32												
S58	-31												
S59	-30												
S60	-29												
S61	-28												
S62	-27												
S63	-26												
H1	-25												
H2	-24												
H3	-23												
H4	-22												
H5	-21												
H6	-20												
H7	-19												
H8	-18												
H9	-17												
H10	-16												
H11	-15												
H12	-14												
H13	-13												
H14	-12												
H15	-11												
H16	-10												
H17	-9												
H18	-8												
H19	-7												
H20	-6												
H21	-5												
H22	-4												
H23	-3												
H24	-2												
H25	-1												
H26	0												
H27	1	0	0	0	307	295			307	295			
H28	2	109	101	101	149	137			149	137			
H29	3	160	143	143	123	109			123	109			
H30	4	201	172	172	123	105			123	105			
H31	5	240	197	197			0	0	0	0			
H32	6	240	190	190			0	0	0	0			
H33	7	240	182	182			0	0	0	0			
H34	8	240	175	175			0	0	0	0			
H35	9	240	169	169			0	0	0	0			
H36	10	240	162	162			0	0	0	0			
H37	11	240	156	156			0	0	0	0			
H38	12	240	150	150			0	0	0	0			
H39	13	240	144	144			0	0	0	0			
H40	14	240	139	139			0	0	0	0			
H41	15	240	133	133			0	0	0	0			
H42	16	240	128	128			0	0	0	0			
H43	17	240	123	123			0	0	0	0			
H44	18	240	118	118			0	0	0	0			
H45	19	240	114	114			0	0	0	0			
H46	20	240	110	110			0	0	0	0			
H47	21	240	105	105			0	0	0	0			
H48	22	240	101	101			0	0	0	0			
H49	23	240	97	97			0	0	0	0			
H50	24	240	94	94			0	0	0	0			
H51	25	240	90	90			0	0	0	0			
H52	26	240	87	87			0	0	0	0			
H53	27	240	83	83			0	0	0	0			
H54	28	240	80	80			0	0	0	0			
H55	29	240	77	77			0	0	0	0			
H56	30	240	74	74			0	0	0	0			
H57	31	240	71	71			0	0	0	0			
H58	32	240	68	68			0	0	0	0			
H59	33	240	66	66			0	0	0	0			
H60	34	240	63	63			0	0	0	0			
H61	35	240	61	61			0	0	0	0			
H62	36	240	58	58			0	0	0	0			
H63	37	240	56	56			0	0	0	0			
H64	38	240	54	54			0	0	0	0			
H65	39	240	52	52			0	0	0	0			
H66	40	240	50	50			0	0	0	0			
H67	41	240	48	48			0	0	0	0			
H68	42	240	46	46			0	0	0	0			
H69	43	240	44	44			0	0	0	0			
H70	44	240	43	43			0	0	0	0			
H71	45	240	41	41			0	0	0	0			
H72	46	240	40	40			0	0	0	0			
H73	47	240	38	38			0	0	0	0			
H74	48	240	37	37			0	0	0	0			
H75	49	240	35	35			0	0	0	0			
H76	50	240	34	34			0	0	0	0			
H77	51	240	32	32			0	0	0	0			
H78	52	240	31	31			0	0	0	0			
H79	53	240	30	30			0	0	0	0			
H80	54	240	29	29			0	0	0	0			
合計		12,469	4,823	0	4,823	702	647	0	0	702	647	7.4	4,176

年次	t	便 益			費 用						費用 便益費 B/C	純現在 価値 B-C		
		便益①		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④				
		便益	現在価値			費用	現在価値	費用	現在価値	費用			現在価値	
	S35	-54												
	S36	-53												
	S37	-52												
	S38	-51												
	S39	-50												
	S40	-49												
	S41	-48												
	S42	-47												
	S43	-46												
	S44	-45												
	S45	-44												
	S46	-43												
	S47	-42												
	S48	-41												
	S49	-40												
	S50	-39												
	S51	-38												
	S52	-37												
	S53	-36												
	S54	-35												
	S55	-34												
	S56	-33												
	S57	-32												
	S58	-31												
	S59	-30												
	S60	-29												
	S61	-28												
	S62	-27												
	S63	-26												
	H1	-25												
	H2	-24												
	H3	-23												
	H4	-22												
	H5	-21												
	H6	-20												
	H7	-19												
	H8	-18												
	H9	-17												
	H10	-16												
	H11	-15												
	H12	-14												
	H13	-13												
	H14	-12												
	H15	-11												
	H16	-10												
	H17	-9												
	H18	-8												
	H19	-7												
	H20	-6												
	H21	-5												
	H22	-4												
	H23	-3												
	H24	-2												
	H25	-1												
	H26	0												
	H27	1	0	0	0	251	242			251	242			
	H28	2	89	83	83	122	112			122	112			
	H29	3	131	117	117	101	90			101	90			
	H30	4	164	141	141	101	86			101	86			
	H31	5	196	161	161			0	0	0	0			
	H32	6	196	155	155			0	0	0	0			
	H33	7	196	149	149			0	0	0	0			
	H34	8	196	144	144			0	0	0	0			
	H35	9	196	138	138			0	0	0	0			
	H36	10	196	133	133			0	0	0	0			
	H37	11	196	128	128			0	0	0	0			
	H38	12	196	123	123			0	0	0	0			
	H39	13	196	118	118			0	0	0	0			
	H40	14	196	113	113			0	0	0	0			
	H41	15	196	109	109			0	0	0	0			
	H42	16	196	105	105			0	0	0	0			
	H43	17	196	101	101			0	0	0	0			
	H44	18	196	97	97			0	0	0	0			
	H45	19	196	93	93			0	0	0	0			
	H46	20	196	90	90			0	0	0	0			
	H47	21	196	86	86			0	0	0	0			
	H48	22	196	83	83			0	0	0	0			
	H49	23	196	80	80			0	0	0	0			
	H50	24	196	77	77			0	0	0	0			
	H51	25	196	74	74			0	0	0	0			
	H52	26	196	71	71			0	0	0	0			
	H53	27	196	68	68			0	0	0	0			
	H54	28	196	66	66			0	0	0	0			
	H55	29	196	63	63			0	0	0	0			
	H56	30	196	61	61			0	0	0	0			
	H57	31	196	58	58			0	0	0	0			
	H58	32	196	56	56			0	0	0	0			
	H59	33	196	54	54			0	0	0	0			
	H60	34	196	52	52			0	0	0	0			
	H61	35	196	50	50			0	0	0	0			
	H62	36	196	48	48			0	0	0	0			
	H63	37	196	46	46			0	0	0	0			
	H64	38	196	44	44			0	0	0	0			
	H65	39	196	43	43			0	0	0	0			
	H66	40	196	41	41			0	0	0	0			
	H67	41	196	39	39			0	0	0	0			
	H68	42	196	38	38			0	0	0	0			
	H69	43	196	36	36			0	0	0	0			
	H70	44	196	35	35			0	0	0	0			
	H71	45	196	34	34			0	0	0	0			
	H72	46	196	32	32			0	0	0	0			
	H73	47	196	31	31			0	0	0	0			
	H74	48	196	30	30			0	0	0	0			
	H75	49	196	29	29			0	0	0	0			
	H76	50	196	28	28			0	0	0	0			
	H77	51	196	27	27			0	0	0	0			
	H78	52	196	26	26			0	0	0	0			
	H79	53	196	25	25			0	0	0	0			
	H80	54	196	24	24			0	0	0	0			
合計			10,207	3,948	0	3,948	574	530	0	0	574	530	7.5	3,418

年次	t	便 益			費 用						費用 便益費 B/C	純現在 価値 B-C	
		便益①		残存価値 ②	計 ①+②	建設費③		維持管理費④		計③+④			
		便益	現在価値				費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値	
整備期間 (59年)	S35	-54											
	S36	-53											
	S37	-52											
	S38	-51											
	S39	-50											
	S40	-49											
	S41	-48											
	S42	-47											
	S43	-46											
	S44	-45											
	S45	-44											
	S46	-43											
	S47	-42											
	S48	-41											
	S49	-40											
	S50	-39											
	S51	-38											
	S52	-37											
	S53	-36											
	S54	-35											
	S55	-34											
	S56	-33											
	S57	-32											
	S58	-31											
	S59	-30											
	S60	-29											
	S61	-28											
	S62	-27											
	S63	-26											
	H1	-25											
H2	-24												
H3	-23												
H4	-22												
H5	-21												
H6	-20												
H7	-19												
H8	-18												
H9	-17												
H10	-16												
H11	-15												
H12	-14												
H13	-13												
H14	-12												
H15	-11												
H16	-10												
H17	-9												
H18	-8												
H19	-7												
H20	-6												
H21	-5												
H22	-4												
H23	-3												
H24	-2												
H25	-1												
H26	0												
H27	1	0	0	0	279	269			279	269			
H28	2	109	101	101	135	125			135	125			
H29	3	159	142	142	112	100			112	100			
H30	4	200	171	171	112	96			112	96			
H31	5	239	196	196			0	0	0	0			
H32	6	239	189	189			0	0	0	0			
H33	7	239	182	182			0	0	0	0			
H34	8	239	175	175			0	0	0	0			
H35	9	239	168	168			0	0	0	0			
H36	10	239	161	161			0	0	0	0			
H37	11	239	155	155			0	0	0	0			
H38	12	239	149	149			0	0	0	0			
H39	13	239	144	144			0	0	0	0			
H40	14	239	138	138			0	0	0	0			
H41	15	239	133	133			0	0	0	0			
H42	16	239	128	128			0	0	0	0			
H43	17	239	123	123			0	0	0	0			
H44	18	239	118	118			0	0	0	0			
H45	19	239	113	113			0	0	0	0			
H46	20	239	109	109			0	0	0	0			
H47	21	239	105	105			0	0	0	0			
H48	22	239	101	101			0	0	0	0			
H49	23	239	97	97			0	0	0	0			
H50	24	239	93	93			0	0	0	0			
H51	25	239	90	90			0	0	0	0			
H52	26	239	86	86			0	0	0	0			
H53	27	239	83	83			0	0	0	0			
H54	28	239	80	80			0	0	0	0			
H55	29	239	77	77			0	0	0	0			
H56	30	239	74	74			0	0	0	0			
H57	31	239	71	71			0	0	0	0			
H58	32	239	68	68			0	0	0	0			
H59	33	239	65	65			0	0	0	0			
H60	34	239	63	63			0	0	0	0			
H61	35	239	61	61			0	0	0	0			
H62	36	239	58	58			0	0	0	0			
H63	37	239	56	56			0	0	0	0			
H64	38	239	54	54			0	0	0	0			
H65	39	239	52	52			0	0	0	0			
H66	40	239	50	50			0	0	0	0			
H67	41	239	48	48			0	0	0	0			
H68	42	239	46	46			0	0	0	0			
H69	43	239	44	44			0	0	0	0			
H70	44	239	43	43			0	0	0	0			
H71	45	239	41	41			0	0	0	0			
H72	46	239	39	39			0	0	0	0			
H73	47	239	38	38			0	0	0	0			
H74	48	239	36	36			0	0	0	0			
H75	49	239	35	35			0	0	0	0			
H76	50	239	34	34			0	0	0	0			
H77	51	239	32	32			0	0	0	0			
H78	52	239	31	31			0	0	0	0			
H79	53	239	30	30			0	0	0	0			
H80	54	239	29	29			0	0	0	0			
合計		12,399	4,802	0	4,802	638	589	0	0	638	589	8.2	4,214

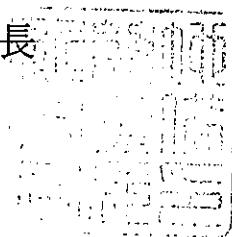
年次	t	便 益			費 用						費用 便益費 B/C	純現在 価値 B-C		
		便益①		残存価値 ②	建設費③		維持管理費④		計③+④					
		便益	現在価値		費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値				
	S35	-54												
	S36	-53												
	S37	-52												
	S38	-51												
	S39	-50												
	S40	-49												
	S41	-48												
	S42	-47												
	S43	-46												
	S44	-45												
	S45	-44												
	S46	-43												
	S47	-42												
	S48	-41												
	S49	-40												
	S50	-39												
	S51	-38												
	S52	-37												
	S53	-36												
	S54	-35												
	S55	-34												
	S56	-33												
	S57	-32												
	S58	-31												
	S59	-30												
	S60	-29												
	S61	-28												
	S62	-27												
	S63	-26												
	H1	-25												
	H2	-24												
	H3	-23												
	H4	-22												
	H5	-21												
	H6	-20												
	H7	-19												
	H8	-18												
	H9	-17												
	H10	-16												
	H11	-15												
	H12	-14												
	H13	-13												
	H14	-12												
	H15	-11												
	H16	-10												
	H17	-9												
	H18	-8												
	H19	-7												
	H20	-6												
	H21	-5												
	H22	-4												
	H23	-3												
	H24	-2												
	H25	-1												
	H26	0												
	H27	1	0	0	0	279	269			279	269			
	H28	2	90	83	83	135	125			135	125			
	H29	3	132	117	117	112	100			112	100			
	H30	4	165	141	141	112	96			112	96			
	H31	5	197	162	162			0	0	0	0			
	H32	6	197	156	156			0	0	0	0			
	H33	7	197	150	150			0	0	0	0			
	H34	8	197	144	144			0	0	0	0			
	H35	9	197	139	139			0	0	0	0			
	H36	10	197	133	133			0	0	0	0			
	H37	11	197	128	128			0	0	0	0			
	H38	12	197	123	123			0	0	0	0			
	H39	13	197	119	119			0	0	0	0			
	H40	14	197	114	114			0	0	0	0			
	H41	15	197	110	110			0	0	0	0			
	H42	16	197	105	105			0	0	0	0			
	H43	17	197	101	101			0	0	0	0			
	H44	18	197	97	97			0	0	0	0			
	H45	19	197	94	94			0	0	0	0			
	H46	20	197	90	90			0	0	0	0			
	H47	21	197	87	87			0	0	0	0			
	H48	22	197	83	83			0	0	0	0			
	H49	23	197	80	80			0	0	0	0			
	H50	24	197	77	77			0	0	0	0			
	H51	25	197	74	74			0	0	0	0			
	H52	26	197	71	71			0	0	0	0			
	H53	27	197	68	68			0	0	0	0			
	H54	28	197	66	66			0	0	0	0			
	H55	29	197	63	63			0	0	0	0			
	H56	30	197	61	61			0	0	0	0			
	H57	31	197	59	59			0	0	0	0			
	H58	32	197	56	56			0	0	0	0			
	H59	33	197	54	54			0	0	0	0			
	H60	34	197	52	52			0	0	0	0			
	H61	35	197	50	50			0	0	0	0			
	H62	36	197	48	48			0	0	0	0			
	H63	37	197	46	46			0	0	0	0			
	H64	38	197	44	44			0	0	0	0			
	H65	39	197	43	43			0	0	0	0			
	H66	40	197	41	41			0	0	0	0			
	H67	41	197	40	40			0	0	0	0			
	H68	42	197	38	38			0	0	0	0			
	H69	43	197	37	37			0	0	0	0			
	H70	44	197	35	35			0	0	0	0			
	H71	45	197	34	34			0	0	0	0			
	H72	46	197	33	33			0	0	0	0			
	H73	47	197	31	31			0	0	0	0			
	H74	48	197	30	30			0	0	0	0			
	H75	49	197	29	29			0	0	0	0			
	H76	50	197	28	28			0	0	0	0			
	H77	51	197	27	27			0	0	0	0			
	H78	52	197	26	26			0	0	0	0			
	H79	53	197	25	25			0	0	0	0			
	H80	54	197	24	24			0	0	0	0			
合計			10,263	3,969	0	3,969	638	589	0	0	638	589	6.7	3,381



国近整企画64号
平成26年10月21日

大阪府知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成26年11月10日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成26年11月4日(火)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【道路事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
一般国道26号和歌山岬道路	事業継続	
一般国道480号鍋谷峠道路	事業継続	

※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
大和川総合水系環境整備事業	事業継続	

※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【砂防事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
亀の瀬地区地すべり対策事業	事業継続	

※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【公園事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
淀川河川公園	事業継続	

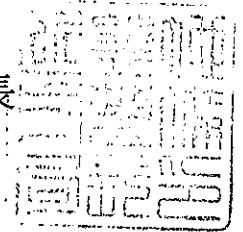
※貴府の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。



国近整企画64号
平成26年10月21日

奈良県知事 殿

近畿地方整備局長



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領(以下「実施要領」という。)に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、近畿地方整備局事業評価監視委員会(以下「委員会」という。)において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成26年11月10日(月)に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成26年11月4日(火)までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

近畿地方整備局 企画部 企画課 事業評価係

電話 06-6942-1141

FAX 06-6942-7463

(再評価)

【河川事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
大和川総合水系環境整備事業	事業継続	

※貴県の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

【砂防事業】

事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
亀の瀬地区地すべり対策事業	事業継続	

※貴県の意見を踏まえ、近畿地方整備局事業監視委員会へ諮る対応方針(原案)を作成するためのものです。

河整第1711号
平成26年10月30日

国土交通省近畿地方整備局長 様

大阪府知事



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

平成26年10月21日付け国近整企画第64号により照会のあった標記につ
いて、下記のとおり回答します。

記

1. 大和川総合水系環境整備事業

大和川総合水系環境整備事業について以下の事項を要請します。

- ①事業の着実な推進、後継計画の早期策定
- ②これまでの整備内容の検証による効果的な整備手法の検討、更なるコスト縮減
- ③既存施設の効率的な運用、適切な維持管理

2. 亀の瀬地区地すべり対策事業

亀の瀬地区地すべり対策事業について、以下の事項を要請します。

- ①「亀の瀬地すべり保全方策検討委員会」等での審議を踏まえた安全性に関する十分な確認
- ②観測施設の選定、危機管理体制構築、事業完了後の利活用等に関する大阪府、奈良県及び関係する市町村との十分な調整

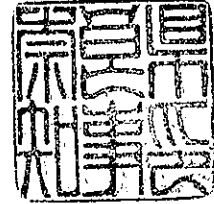
<担当>
都市整備部河川室
TEL06-6944-9296



河 第 247 号
砂 第 329 号
平成26年11月 4日

近畿地方整備局長 殿

奈良県知事 荒井正吾



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の
作成に係る意見照会について(回答)

平成26年10月21日付け国近整企画64号で照会のありました標記の件について、
別紙のとおり意見を提出します。

(別紙)

【亀の瀬地区地すべり対策事業】

平成26年10月21日付け国近整企画64号で照会のありました近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る「亀の瀬地区地すべり対策事業」の意見照会については、以下のとおり回答します。

亀の瀬地すべり地は本県と大阪府の境界付近の一級河川大和川中流部に位置しており、その上下流には両府県の人口・資産が集中しているだけでなく、末端部には国道25号、JR大和路線が通過し、奈良と大阪を結ぶ物流・交通の要衝となっています。

国が昭和37年に直轄事業で地すべり防止工事に着手し、これまで継続的に対策工事を進めてきたことにより、近年は顕著な地すべり活動は観測されていませんが、活動が再発した場合は、両府県に与える被害は甚大なものとなります。

県民の安全・安心を確保するため、今後も引き続き直轄事業として継続し、万全の監視・観測体制や危機管理体制の構築を図るようお願い致します。

尚、これまで施された地すべり工事の効果の評価にあたっては、計画時に想定した外力に対する効果の確認だけでなく、想定外の外力についても確認するなど、慎重且つ入念な技術的検証をお願い致します。

また、同工事の完了の判断にあたっては、事前に十分な説明と協議を頂きますようお願い致します。